

発言通告一覧表

月日	順番	氏名	件名
12/10(月)	1	森下 寛明	1. 市政運営の基本的な考え方 2. 道路網の整備
12/10(月)	2	吉田 耕造	1. 議案第61号(事務分掌条例) 2. まちづくり行政
12/10(月)	3	津本 辰己	1. 行政機構改革について 2. 自主財源確保・財政健全化の取り組みについて 3. 前議会で質問した内容のその後の動向について
12/10(月)	4	中島 完一	1. スポーツ・文化振興について 2. 中小企業振興について 3. 安心安全のまちづくりについて
12/10(月)	5	原 行則	1. 行政評価(事業仕分け)について 2. 観光行政と福祉施策 3. 農地政策と都市計画
12/10(月)	6	倉持 照憲	1. 上水道区域内における無給水地区について 2. 公共交通としての今後のバス路線は 3. 農林業・農村政策について
12/11(火)	1	岡田 康弘	1. 教育問題について 2. 環境問題について
12/11(火)	2	松本 義隆	1. 合併について
12/11(火)	3	竹内 靖人	1. 議案第61号、津山市事務分掌条例について 2. 津山を何で売り出すのか 3. 地産地消と食育の関係について
12/11(火)	4	黒見 節子	1. 行財政改革について 2. 新学校給食センターの民間委託について 3. ごみのないまちづくりと減量について
12/11(火)	5	川崎 修	1. 農業 農村の振興について
12/11(火)	6	久永 良一	1. 行財政改革 2. ごみ問題 3. 活性化策
12/12(水)	1	野村 昌平	1. 公共施設建設・運営と財政的影響について
12/12(水)	2	岡安 謙典	1. 教育行政 2. 高齢者医療について 3. コンプライアンスについて
12/12(水)	3	田口慎一郎	1. 平成20年4月1日機構改革 2. 水道事業経営と整備
12/12(水)	4	秋久 憲司	1. 学校教育について 2. 機構改革と重点施策について 3. 環境行政について
12/12(水)	5	近藤吉一郎	1. 酪農について 2. 教育について 3. まちづくりについて
12/12(水)	6	秋山 幸則	1. 安全・安心の街づくり 2. 活力と活気ある街づくり 3. 総合ごみ処理センターについて
12/13(木)	1	村田 隆男	1. 合併後の様々な弊害 2. 行政改革 3. 福祉対策
12/13(木)	2	佐々木裕子	1. 環境行政 2. 「協働」によるまちづくり
12/13(木)	3	河本 英敏	1. 信頼される市政
12/13(木)	4	川端恵美子	1. 第B次津山市行財政改革実行計画について 2. 統合保育、統合ケアについて 3. 退任者に対する、地域のニーズに対応した安心・安全な生活
12/13(木)	5	高橋 誠	1. 公共交通対策について 2. 福祉政策について 3. 機構改革について
12/13(木)	6	庄司 勝義	1. 合併(新市建設計画) 2. 津山市組織機構改革
12/14(金)	1	北本 周作	1. 武育と食育の推進について 2. 総合ごみ処理センター建設の現況と今後のスケジュール
12/14(金)	2	竹内 邦彦	1. まちづくり施策
12/14(金)	3	木下 健二	1. 街づくりについて 2. 公共下水道事業について
12/14(金)	4	末永 弘之	1. 市長の基本姿勢と機構改革 2. 入札制度について 3. マイバック運動について
12/14(金)	5	森岡 和雄	1. 津山市社会体育施設について 2. 入札と公共工事について 3. 新市建設計画と総合計画について

もう高〜いビルは建てないで

市民と歩む会 秋久 憲司



質問 ↓ 小学校・中学校の耐震診断結果と耐震診断が済んでいない学校を公表し、診断と耐震工事を早急に行うべき。

答弁 ↓ 診断結果は、分かりやすい公表方

法を検討する。診断未実施は、小学校は高野・河辺・高倉・清泉・院庄・鶴山・勝加茂・喬松・広戸の九校、中学校は北陵・津山西・鶴山の三校。今後は早急に事業実施に取り組む。

質問 ↓ 機構改革は財政と企画の一つの部分にし、財政主導の市政運営をすべき。

答弁 ↓ 財政のきちんとした裏づけを持って計画を推進していく。

質問 ↓ 北町や山下にビルが建つと鶴山公園の眺望が壊され市民はがっかり、景観条例を制定し景観を守るべきだ。

答弁 ↓ 城下町つやまとして優れた景観を大切にできた。景観条例の制定は熱意を持って前進させる。

酪農家の現状及び救済対策について

津山新星会議 近藤吉一郎



質問 ↓ 輸入飼料の高騰等、合理化努力の域を超える生産コスト上昇などで酪農

家は苦しい経営を強いられている。救済策等どのように行うのか。

答弁 ↓ 牛乳等の一層の需要拡大対策が必要となるが食育については酪農体験など生きた教材とすることも必要と考え乳製品の正しい知識、栄養源としての役割を伝えることも重要視して取り組む。牛乳消費拡大等については消費拡大イベント等への参加や生産組織の取り組みに積極的に支援と協力を行う。

質問 ↓ 武道団体の中でも特に稽古場所に困っている弓道に対しての支援は。

答弁 ↓ 弓道場については要望についても重く受け止めており、連盟と連携しながら実現に努力していきたい。